

漁民と手をつなく広報誌

第十仁豊丸 進水!!



今年度より開始された「鶴岡市がんばる水産業応援事業（がんばる水産業補助金）」を活用し、第十仁豊丸（船主(有)仁三郎）が新造され、去る9月6日(金)に進水式が行われました。

この第十仁豊丸は、定置網漁業の起こし船である第十八仁豊丸の補助船として導入され、今後の作業効率のアップが期待できます。

第十仁豊丸及び第十八仁豊丸の安全操業と大漁をご祈念申し上げます。



漁業調整規則を守りましょう!!

日頃から、当組合の事業運営につきまして格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、近頃、山形県漁業調整規則第38条の規定に基づき採捕が禁止されている殻長10センチメートル以下のあわびを組合員が採捕し、酒田海上保安部に摘発されるという事案が相次いでおります。

あわびは、漁業法の規定に基づく特定水産動植物であり、原則、採捕が禁止されており、違反した場合は罰則（3年以下の懲役又は3,000万円）の対象となります。

一方、漁業権や漁業許可があればあわびを採捕することは可能ですが、山形県漁業調整規則の規定に違反して採捕した場合は、たとえ漁業権や漁業許可を有していたとしても漁業法違反となり、罰則の対象となります。

なお、さざえについても、殻蓋長径2.5センチメートル以下の採捕は調整規則違反となります。

当組合では、常日頃から密漁防止巡回活動を行い、漁場の管理に努める他、浅海漁場を永続的に利用するため、あわびの稚貝放流に積極的に取り組むなど、漁場維持並びに資源管理に努める活動を行っており、このような違反行為は断じて許されるものではありません。

また、漁獲共済・積立ぶらすをはじめとする各種国庫事業を活用している場合には、資源管理協定や漁場改善計画を遵守できなかったとして、国費分の返還や解約等の厳罰対象となる可能性があります。

組合員の皆様方には、関係法令を遵守するとともに、下記に御留意の上、営漁活動に取り組んでいただきますようお願いいたします。

記

- 1 山形県漁業調整規則で採捕が禁止されている殻長10センチメートル以下のあわび及び殻長2.5センチメートル以下のさざえを採捕することは、漁業法等違反となるため、絶対に採捕しないこと。
- 2 また、あわびについては、殻長10センチメートルを超えるものであっても9月1日から11月30日までの間は、山形県漁業調整規則で採捕が禁止されているため、禁止期間における採捕は原則行わないこと。

酒田港洋上風力発電 基地港湾整備着工式典

令和6年9月8日(日)酒田市のガーデンパレスみずほにおいて、酒田港洋上風力発電基地港湾整備着工式典が開催されました。

これは、遊佐町沖や酒田市沖で進められている、洋上風力発電の事業化に向けた第一歩として、巨大風車を組み立て積み出す拠点として酒田港を機能させるための工事着工を祝うものです。

本式典は、県と国土交通省酒田港湾事務所が主催し、関係者約50人が出席しました。

主催者挨拶で吉村美栄子県知事は「洋上風力発電は事業規模が大きく、地域経済の活性化も大いに期待できる。一丸となって酒田港の発展に取り組んでいかないといけない。」と述べられました。

本工事の期間は2027年までの4年間で総事業費はおよそ122億円、今後は大型の貨物船が接岸できるよう航路を水深12メートルまで掘り下げる他、岸壁の耐荷重性の強化や防波堤の整備など、酒田港大浜ふ頭の機能強化を行っていく予定です。



山形県酒田市豪雨災害に対し、 農林中央金庫様より災害見舞金をいただきました。

去る7月25日(木)に発生した、山形県酒田市を中心とした豪雨災害を受け、8月5日(月)農林中央金庫山形支店様より大雨に係る被害への見舞金をいただきました。被害に遭われた皆様への復旧・復興に役立て、大切に使用させていただきます。ご支援に深く感謝申し上げます。



向かって左 笠原支店長

山形県漁業スマート化研修会を開催しました

皆さんは、近年話題になっている「スマート漁業」という言葉になじみがあるでしょうか。ICT技術等を活用して漁業における様々な課題を解決する取組のことですが、おそらく、いまいちピンとこないという方が多いのではないのでしょうか。かくいう私も、この春より「スマート漁業推進部」に所属が変わり、日々スマート化について勉強をしているところです。そんなスマート漁業ですが、皆さんにも身近に感じていただきたいという考えから、8月6日に、加茂コミュニティ防災センターで「山形県漁業スマート化研修会」を開催しました。

研修会の講師は九州大学応用力学研究所の広瀬教授。内容は「海況予測の実用化」で、漁業者が日々の操業の中で専用の機器を使って海洋観測し、そのデータを活用することで海況の予測精度を向上させるという取り組みを紹介して頂きました。実際に西日本の漁業者からは、好漁場の予測が陸上でできる、漁場探索のための燃油の節約になった、潮の流れがあらかじめわかることから漁具の逸失が少なくなった、等の感想があったようです。最新の機器を活用し、漁業の効率化を図ると、「スマート漁業」の好事例について、皆さん真剣に聞き入っていました。

水産研究所では、今後も漁業者の方の操業効率化などスマート漁業の取組を進めてまいります。
山形県水産研究所 スマート漁業推進部 太田 稔章



ウニ駆除 ボランティア



今年は多くの地区から藻場が減少したとの声を耳にします。冬場の海水温が高かったことで海藻の育ちが悪かったことに加え、ウニやサザエが増え、海藻を食べる量が増えたことが要因の一つと思われます。

中でも由良地区ではウニの量が急激に増えており、漁業者だけでは駆除が追いつかないとの相談を受けたことから、ボランティアを募りウニ駆除に取り組みました。ボランティアは15名が参加し、漁業者4名と一緒に約1時間半の活動で駆除したウニは、合計182kg、約2,900個！今回は素潜り徒手採捕のため、岩の隙間のウニまでは採り切れませんでしたが、次回はより効率的な、水中で潰す方法で挑みたいと思います。

藻場は魚たちの成育場としても重要な上、最近はブルーカーボンとしての注目も集まっていることから、一般の方からも藻場への関心は高く、海藻を守るために何か活動がしたい！という方は意外と多いです。ボランティアの方からは、また参加したい！との声が聞かれました。浜のルールを徹底しながら、一緒に藻場保全に取り組む良い関係が築けるよう繋いでいきたいです。ウニの増加でお困りの地区はぜひご相談ください。

ちなみに駆除したウニは、やはりスカスカ（身入りは2～6%）で、市場に出せるものではありませんでした（販売目安は10%以上）。有効な活用法がないか、検討していきたいです。
山形県水産研究所 浅海増殖部 古山 遥



2024年「JF共済」山形・秋田合同普及推進会議 開催



8月23日(金)、2024年度「JF共済」山形・秋田合同普及推進会議が酒田市希望ホールにて開催されました。

本会議は、隣接する秋田県と山形県のJF共済担当者が一堂に会し、お互いの県域での実績状況や普及推進の事例報告を行うことで、情報共有と親睦を深めながら普及推進の機運を高めていこうという趣旨のもと、前年度の秋田開催に続き今回が2回目となります。

事例報告ではまず、秋田県漁協北部支所から、初の試みとして制定した「共済の日」の取り組みや推進本部会長（漁協組合長）を中心とした推進活動などが報告され、続いて本県信用共済課佐藤智穂さんと指導課小川美和さんより、こちらも初の試みとして行った、飛鳥地区での戸別訪問活動を始め、本所各課・窓口での浜のあんしんサポート運動や恒常推進活動について発表いただきました。

その後の意見交換会では、日常の共済推進で感じていることやお互いの県での推進の様子など様々な意見が飛び交い、有意義な時間となりました。

本会議終了後には懇親会が催され、共済に関わらず他業務における相談・意見交換をするなど親睦を深めました。

今後も連携強化を図り、両県の共済事業の更なる伸長を目指していききたいと思います。

2024年東北事業本部「JF共済」実践報告会 開催

9月5日(木)ホテルグランテラス仙台国分町において、2024年度東北事業本部「JF共済」実践報告会が開催され、信用共済課佐藤智穂さんと指導課小川美和さんが出席しました。

この報告会は東北6県の「JF共済」普及拡大を目的として、推進カレンダーを活用した取組や、浜のあんしんサポート運動の継続実施、推進の早期展開等により実績伸長へ結びついた好事例を実践報告いただくため開催されたものです。

本県の実践報告では、浜サポでの取組の他、飛鳥での訪問活動について佐藤さんと小川さんより発表していただきました。

報告会を通じ、各県の共済事業の取組の他、他事業における課題等幅広い意見交換を行うなど、東北の連携強化の足掛かりとなる貴重な機会となりました。 JF共水連東北事業本部山形支店 **坂本 淳**



全国共済水産業協同組合連合会 (JF共水連) 人事異動のお知らせ

◆人事異動・職位任用 (令和6年10月1日付〔は旧所属〕)

佐々木裕之	普及企画部長 宮城支店長兼務 (普及企画部長 秋田支店長兼務 山形支店長兼務)	坂本 淳	秋田支店普及指導課長 山形支店普及指導課長兼務(秋田支店勤務) (秋田支店普及指導課 山形支店普及指導課兼務(山形支店勤務))
本間 護	秋田支店長 山形支店長兼務(山形支店勤務) (秋田支店次長 秋田支店普及指導課長事務取扱兼務 山形支店次長兼務 山形支店普及指導課長事務取扱兼務)	渡邊 圭	秋田支店普及指導課 山形支店普及指導課兼務(山形支店勤務) (青森支店普及指導課)

9月は 船員労働安全衛生月間です

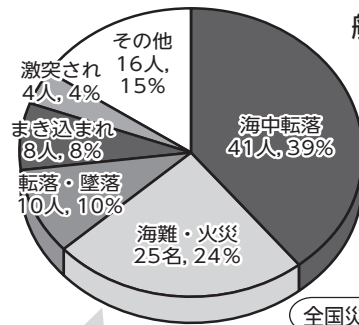
船員労働安全衛生月間は、船舶所有者及び船員の自主的な安全衛生活動の促進により、船内における安全で快適な作業環境と居住環境を実現し、船員の労働災害を防止するため、国土交通省、水産庁が主唱し、船員災害防止協会の協賛のもと、毎年、全国的に実施しているもので、今年で68回目となります。

待っている 家族の笑顔を 忘れずに

今年度の重点事項

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| ① 作業時を中心とした死傷災害防止対策 | ⑥ 新型コロナウイルス感染症等の感染症予防対策 |
| ② 海中転落・海難による死亡災害防止対策 | ⑦ ハラスメントの防止とメンタルヘルスの確保 |
| ③ 漁船における死傷災害防止対策 | ⑧ ITを活用した健康管理等の推進 |
| ④ 船舶の設備等ハード面での安全対策の推進 | ⑨ その他の健康管理上の取組 |
| ⑤ 船員の健康確保対策 | ⑩ 年齢構成を踏まえた死傷災害及び疾病対策 |
| | ⑪ その他の安全衛生対策 |

皆さんの船舶でも、船内の安全衛生設備の点検を行うとともに、乗組員全員で安全衛生について話し合うなど災害、疾病の防止に積極的に取り組みましょう。



船員死亡発生状況 (2018～2022年度)

全国災害疾病発生状況報告より

5年間で死亡者総数104名。なかでも海中転落による死亡者数が41名39%にもおよびます。漁労作業中は「救命胴衣の着用」、「荒天時の操業は控える」、「暴露甲板上での単独作業を行わない」などの安全対策を講じましょう。

東北運輸局山形運輸支局 (TEL 0234-22-0084)

今年も貯めよう

貯金キャンペーン

1～2年 定期 0.225% (0.100% 上昇)

3年 定期 0.250% (0.100% 上昇)

上記金利は新規にご契約いただいたお客様のみ対象となります。

令和6年10月1日～11月30日まで

本キャンペーンは個人のお客様が対象となります。法人・団体のお客様は対象となりません。

ご契約者様にはプレゼント進呈!

JF マリンバンク

お問い合わせ先 本所 信用共済課 ☎0234-24-5613
 由良総括支所 ☎0235-73-3011 念珠関総括支所 ☎0235-44-2100

リフォームローン

キャンペーン

令和6年9月1日～令和7年3月31日

JFやまがた

変動金利 年2.25%

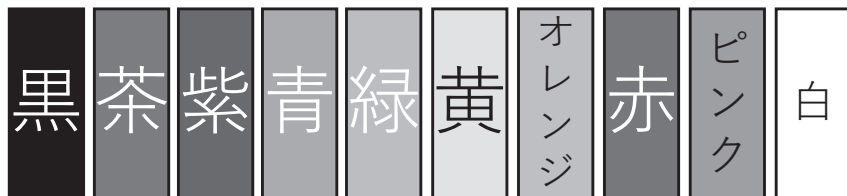
～2.65% (保証料込)

固定金利 年2.75%～2.95% (保証料込)

酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第十四弾!!
 防災の9月ですが、災害や事故発生時に救助する側から見たサバイバル知識について紹介!

海と色の関係とは？ (服装や携行品選びの参考に)



海の上で目立つ色は何色ですか？という質問がよくありますが、一般的には黄色やオレンジといわれています。
 これは、海難救助をするにあたり、航空機など上空から見たときに周囲の海面、波、海藻、岩などと区別しやすい色だからで、海面及び海面直下では見つけやすい色です。
 一方、黒、茶、紫など暗色系の色は周囲の色に紛れてしまい、見分けがつきにくくなってしまいます。
 また、水深が深くなるにつれて光が届かなくなる・波長の長い赤い色ほど吸収されるなどの理由から、各色は黒に近づいてきます。
 そのような中で白だけは深い水深でも区別できる色となっています。

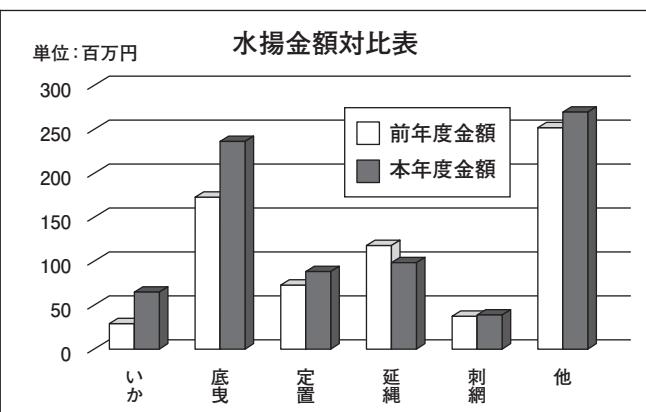
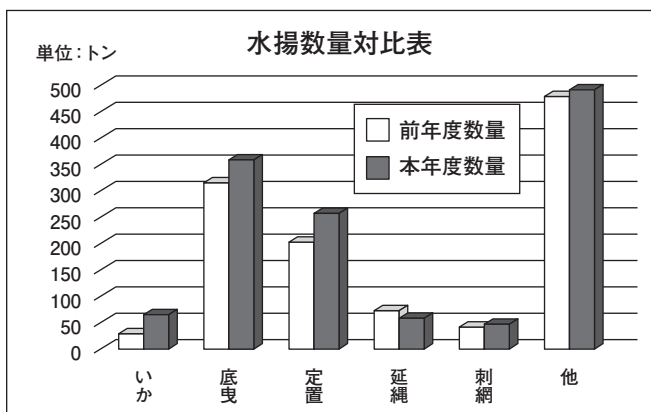
海の事件・事故は電話118番
酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和6年8月31日現在

(単位: kg, 千円)

	8月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	8月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	270	355,558	312,815	42,743	162	236,521	172,625	63,896
2 刺網漁業	6,445	46,266	40,692	5,574	9,755	39,760	37,797	1,963
3 いか一本釣漁業	8,888	60,773	26,531	34,242	9,095	63,596	29,123	34,473
4 船凍いか釣漁業	1,888	1,888	0	1,888	1,910	1,910	0	1,910
5 はえなわ漁業	7,865	56,363	70,489	▲14,126	15,088	99,140	117,671	▲18,531
6 ごち網漁業	24,944	44,741	65,361	▲20,620	19,051	32,850	47,330	▲14,480
7 定置網漁業	2,939	254,668	200,731	53,937	2,337	88,974	73,820	15,154
8 採貝藻漁業	27,532	82,543	62,938	19,605	17,210	75,975	56,594	19,381
9 その他の漁業	100,171	360,623	344,347	16,276	50,946	148,849	132,999	15,850
10 張網漁業	0	1,548	5,101	▲3,553	0	767	2,920	▲2,153
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	353	11,883	12,078	▲195
合計	180,942	1,264,971	1,129,005	135,966	125,907	800,225	682,957	117,268



水揚情報

令和6年8月31日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛島	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
7月末迄水揚累計		662,789	38,566	19,396	143,647	56,690	115,991	74,645	19,187	194,667
月間水揚	県内船水揚	119,546	12,183	7,667	31,008	12,221	15,059	10,362	3,317	27,729
	県外船水揚	6,006	0	0	6,006	0	0	0	0	0
	合計	125,552	12,183	7,667	37,014	12,221	15,059	10,362	3,317	27,729
前年同月水揚		112,637	9,248	5,038	34,921	13,576	15,154	9,156	3,456	22,088
本年度水揚	県内船水揚	737,391	50,749	27,063	145,936	68,911	131,050	85,007	22,504	206,171
	県外船水揚	50,951	0	0	34,725	0	0	0	0	16,226
	合計	788,342	50,749	27,063	180,661	68,911	131,050	85,007	22,504	222,397
前年度水揚累計		670,877	42,050	26,148	157,870	67,527	106,483	76,464	22,497	171,838
増減		117,465	8,699	915	22,791	1,384	24,567	8,543	7	50,559
本年度水揚計画		2,237,000	92,000	65,000	929,000	122,000	287,000	181,000	27,000	534,000
達成率		35.2%	55.1%	41.6%	19.4%	56.4%	45.6%	46.9%	83.3%	41.6%

今あがっている魚

－ 8月のベストテン －

前年対比 増↗減↘変らず→

水揚金額 (千円)				漁獲量 (kg)			
1	かき貝	23,924 ↗		1	べにずわい	63,150 ↗	
2	たい	17,568 ↘		2	たい	23,007 ↘	
3	さざえ	12,150 ↗		3	さざえ	22,082 ↗	
4	するめいか	10,930 ↗		4	かき貝	21,015 ↘	
5	べにずわい	8,841 ↗		5	するめいか	10,744 ↗	
6	あまだい	8,390 ↗		6	その他のばい類	7,222 ↘	
7	つばい	6,451 ↘		7	つばい	4,566 ↘	
8	その他のばい類	3,567 ↘		8	あまだい	4,108 ↗	
9	あわび	1,644 ↗		9	あじ	1,713 ↗	
10	めばる類	1,265 ↘		10	さば	1,495 ↗	

月間MVP

月間MVP

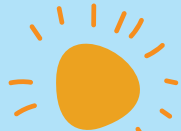


●今年も残すところ三ヶ月余りになりました。暦の上では8月7日より、立秋となつていますが活発な気候変動による所為か、本来残暑と言つべき時期でありながら30℃前後を記録するなど猛暑日が続いております。10月に入ると平均気温が6〜7℃下がるため、急な環境変化により体調を崩しやすくなります。疲労回復によい山芋やしいたけなどこれから旬を迎える食材を食へ、初秋に備えましょう。

●旬な話題といえば、現在(9月13日)ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手がメジャーリーグ史上初の50本塁打50盗塁まで残り3本塁打2盗塁となり、連日世間を賑わせております。ここまでできたのなら是が非でも達成して欲しいですね!また現在ドジャースはナ・リーグ西地区首位を独走しており地区優勝は固いでしょう。同じ東北民として大谷選手を応援しましょう。

●9月に入り底曳網漁が解禁されました。ま事故や大きなケガなどなく大漁になることを心よりお祈り申し上げます。

●すいさん山形は日々組合員の皆様に読みやすく、読んでいて楽しい広報誌づくりを心掛けております。今後も見・情報等ございましたら、お気軽に漁協職員へお声掛け下さい。



山大付属小学校の皆さんが見学に来てくれました!!



7月16日(火)、今年も山大付属小学校の5年生、約100名の皆さんが当組合の見学に来てくれました。

今回もすっかりおなじみ、指導課の佐藤悠太郎係長が講師として子供たちに庄内浜のアレコレを講話しました。

庄内浜の形状や季節風の関係から養殖が出来ないこと、組合員数や漁船の減少に伴い、漁協の取扱高が低迷していることなど現状の課題を伝えるとともに、少しでも水産物に興味をもって、たくさん魚を食べてくれることが漁業を助けることになるのだということを熱く語ると、子供たちも熱心に聞いてくれました。

庄内浜の魚、ぜひおいしく食べてほしいですね。



念珠関総括支所



由良総括支所



さかた総合市場

底曳き網漁業解禁!!

9月1日(日)、いよいよ底曳き網漁業の解禁を迎え、各浜一斉に出漁を開始しました。今年もまだ水温が高いこともあり、初日の手ごたえは少し物足りないようでしたが、これから10月にはズワイガニ漁の解禁、12月にはタラやハタハタなどおいしい冬の魚が目白押しです。今後の大漁に期待です。



活イカ
出荷に
向けて

昨年、県のブランド魚種に承認されて設立したイカ部会(県・酒田市・県漁協)において、いよいよ活イカ出荷に向けた試みが開始されました。

8月1日は、第18正徳丸(鈴木徳正船主)が水揚げしてきたケンサキイカをパッキングし、出荷する取り組みが行われました。

ケンサキイカの興奮を抑えるために使用するPH調整剤の量や、パッキングの際にイカに少しでも負担がかからないよ

うにする工夫等、様々なテクニックが必要となり、まだまだ課題も多いのですが、試行錯誤を繰り返しながら、安定した活イカ出荷に向けて取り組んでいきます。

地元料理店で提供をはじめ、豊洲や関東方面へのおいしい出荷を通じて、「いかのまち酒田」をおおいに盛り上げ、地域活性化に向け事業展開していきたいと考えています。

販売企画課 課長代理 岡部 太郎